



【おうち英語】子どもに主体的に英語を続けてもらうために

子どもに幼いうちから英語に触れさせようと
決めるのは親であることがほとんどです。

子どもの方から「英語やりたい〜!」と
せがまれるというケースは考えられないでしょう。

ほぼ100%親の意向でスタートします。

つまり親には
「わが子をバイリンガルキッズにしちゃうぞ!」
というような明快なモチベーションがあるのですが、
当の英語を吸収している子どもたちには
「バイリンガルになっちゃうぞ!」と
いうような野心は100%ありません。
(そんな子どもがいたら怖い)

子どもにしてみれば、
登山家が「そこに山があるから登る」というのと同じく、
「家の中に英語があるから触れている」だけに過ぎません。

モチベーションゼロです。

乳児期の頃は身の回りにあるものを
自然に受け入れてくれる子どもですが、
成長するにつれて、自我が強くなり、好き嫌いがはっきりし始め、
「嫌なものは嫌」と拒否するようになってきます。

日本語がある程度育ってから英語を与え始めたりすると、
「なんだこのわけのわからない言葉は!!!さっぱりわからん!」
と英語を拒否されてしまうこともあります。

DVD を止める、スマホの動画を止める、
動画やアプリを変えるなど知恵もついてくるので、
幼児期以降におうち英語を始めるのは

子どものタイプによっては難しいこともあるかと思っています。

乳児期からおうち英語に触れてきた子ども、
日本語の成長の方が優位で、
英語がそれほど入っていない場合、
より理解しやすい言語をチョイスするのが人の常なので、
英語を拒否する場合も出てきたりします。

またアニメなどキャラクターや遊びにも個々の好みが出てくるため、
内容が子どもの興味に即していなければ、
これまた拒否られることは珍しくありません。

この時期ぐらいから
子どもの意思を無視することができなくなってきます。

その子その子の好みに合わせて、
おうち英語の素材を適切にアレンジして
子どもの興味を引いていく努力をすることが必要となってくることは
これまで何度かお話しさせていただいた通りです。

このように子どもの【意思表示】というものは、
子どもの成長に合わせてだんだんと出てくるものですが、
だからと言って「もっと英語ができるようになりたい!」という
【モチベーション】を子どもに求めるのは無理なことかと思います。。。

「主体的に子どもから英語を求めて欲しい」とか
「もっと子どもが英語に意欲的に取り組むようになって欲しい」と思うのは、
時期尚早なのではないかと。

「～したい」という欲求は、小さな子の場合、
「食べたい」とか「寝たい」とか「愛されたい」というような
生理的な欲求に基づいたものであることが普通で、
自己を向上させる自己実現欲求が出てくるのは
まだかなり先の話なのではないかと思うのです。

そんなわけで、幼児期の子どもに、
自ら学ぶ意思を持って英語を吸収して!と願うのは
やや無理がある話なのではないかと思っています。

子どもにとって英語は自分の意志で始めたことでもありませんね。

この「もっと英語ができるようになりたい!」という【モチベーション】は、時期もそうですが、子どもの知識欲や将来の夢、趣味などとリンクしない限り、出てこないような気もしています。

先日の note への投稿<【おうち英語】たかがゲーム、されどゲーム>で、我が家の息子が海外で人気がある Among Us というゲームをやってみたいという一心で、英語でテキストチャットして海外の人とゲームをしていた、というあまり感心できないエピソードを紹介しましたが、趣味と結びつくと、途端に人のモチベーションは UP します。

映画ボヘミアン・ラプソディーを家族で見たと、娘が思いの外、ハマリ、映画鑑賞後、自分で Queen やフレディ・マキュリーのことを色々調べていました。

私もハマって映画以外のエピソードを知りたいと調べたのですが、私は当たり前のように日本語のサイトから日本語で情報収集をしていました (しかもウィキペディア💧)

しかし、娘はそういう時、海外サイトを見るんですね。ブライアン・メイの Instagram をフォローして、ブライアン・メイがギターを教えている動画投稿を見ながら「ブライアン・メイのイギリス英語ってきれいだよね。」「ギターはピックを使わずコインでずっと弾いているんだね」などと私に教えてくれるのです。

誰に強制されたわけではなく、自然に「Queen はイギリスのバンドだから、英語で調べた方がいっぱい情報あるでしょ」と思っているのか、そんなことすら思っていないのか・・・。

普段から娘が視聴している Youtube 動画もほとんどが海外の動画か、日本人が英語で海外に情報を発信しているものだと最近知りました。

今わが家では、親である私が与えるという形の
おうち英語の時間というのは年々減ってきています。

しかし、子どもたちが自分の意志で
主体的に英語を続けてくれています。

ご紹介している通り、
我が家の子どもたちの英語に触れるモチベーションになっているものは
音楽だったり、ゲームと、決してアカデミックな内容ではありませんが、
私はそれでよいかなあと考えています。

強制されると逆にモチベーションは下がりますし、
「やらされてる感」がある時、人は伸びないのではないかと思います。

もちろん我が家とて、これまでのおうち英語において、
100%子どもの意思を尊重し、放任で自由きままに
子どもにやらせてきたわけではありません。

幼い頃には子ども自身に
【英語へのモチベーション】がまるでないに等しい状態で、
子ども任せにしておいたら他の楽しいことに心奪われて、
英語を敢えて自分から取り入れるなんてことは考えづらいため、
私の方から働きかけて子どもにかなり英語をやらせました。

その「やらせる」中で気を付けたことがあると言えば、
内容の選択は子どもに委ねると言ったところでしょうか。

子どもの興味だけは尊重するようになってきました。

購入したから、高かったから、という理由で、
興味を示さない教材を無理強いすることだけはしないようにしていたかなと思います。

今、子どもが自分の好きな物を英語で楽しんでいる状態は
その延長線上にあると思っていますが、
私自身は年々楽になっていっています。

学校英語に対応するために、
文法の修正などはやらせなければやりたがらないので、

その辺りは介入しますが、
今はオンラインレッスンの内容もほぼ講師と子どもたち本人にお任せです。

あと数年で上の娘は高校を卒業し、親元を離れていくと思います。

息子にしてもさらに気難しく
親の言うことを聞かなくなってくることを想定すると、
親が強制して子どもが受け入れることなどなくなってくるでしょう。

子どもは親の所有物ではありませんので、
親が子どもの人生のルールを敷き過ぎてもダメだと思っています。

「英語を身に付けられるように」というルールは敷きましたが、
その終着点まで親が決めてはならないと思うのです。

私の願いとしては【身に付けた英語を人生の糧にしてほしい】と思うのみなので、
その使い方にケチをつけるつもりはありません。

ウチの子には「将来海外で学びたい」とか
「英語を使って世界で活躍」というような夢はまったくないようですが、
それはそれでよいと思っています。

個人の趣味の範囲で英語を楽しむもよし、
将来自分の進路で英語が必要になったとき、
さらに本腰を入れてくれたらラッキーぐらいのスタンスです。

英語の能力を消さないだけの習慣を取り入れて、
自分で英語で何をか楽しんでいてくれるだけで
私的にはもう十分です。

私にはそれが主体的な学びの姿勢に思えるのです。

子ども自身は自分が好きなことを楽しんでいるだけで、
親の私は楽ができていますので、win-win かな♪と思っております(^^)

note 2020 年 11 月 24 日 投稿文より引用